

2024年2月21日

# 樹脂窓の特長

樹脂窓リサイクル検討委員会

# 節電・省エネ

窓は熱の出入り口！だからこそ、  
断熱・遮熱・気密性能に優れた樹脂サッシが必要です

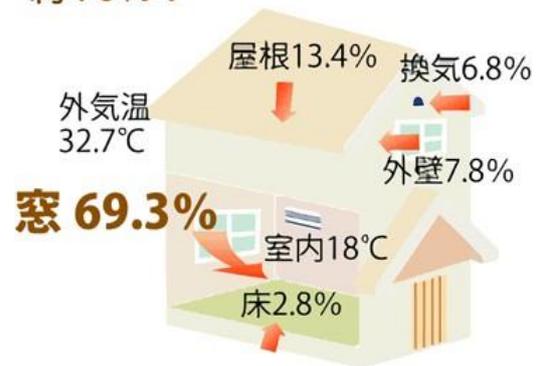
「夏はエアコンの効きが悪い…」、「暖房をつけていても足元が冷える…」といった悩みはありませんか？これは、窓を通して熱が入り出してしまうことが大きな原因です。

アルミサッシ窓の場合、夏は窓から入る熱が全体の約 7 割、冬に窓から逃げる熱は全体の約 5 割となっています。（右図参照）

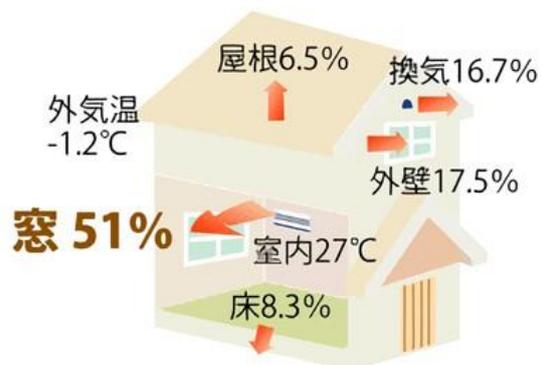
エアコンなどの冷暖房機器をフル回転しなくては効果を感じにくいのは、夏は窓から外の熱が入り、冬は暖かい室内の空気が外に逃げて冷気が入ってしまうからです。

つまり、窓の断熱性を向上させることは、大きな節電につながり、省エネで快適な住まいへの近道になるのです。では次に、樹脂サッシがいかに熱ロスを防ぐかご紹介しましょう。

 **夏の冷房時（昼）に開口部から熱が入る割合は、窓が全体の約 70%！**



 **冬の暖房時の熱が外に流出する割合は、窓が全体の約 50%！**

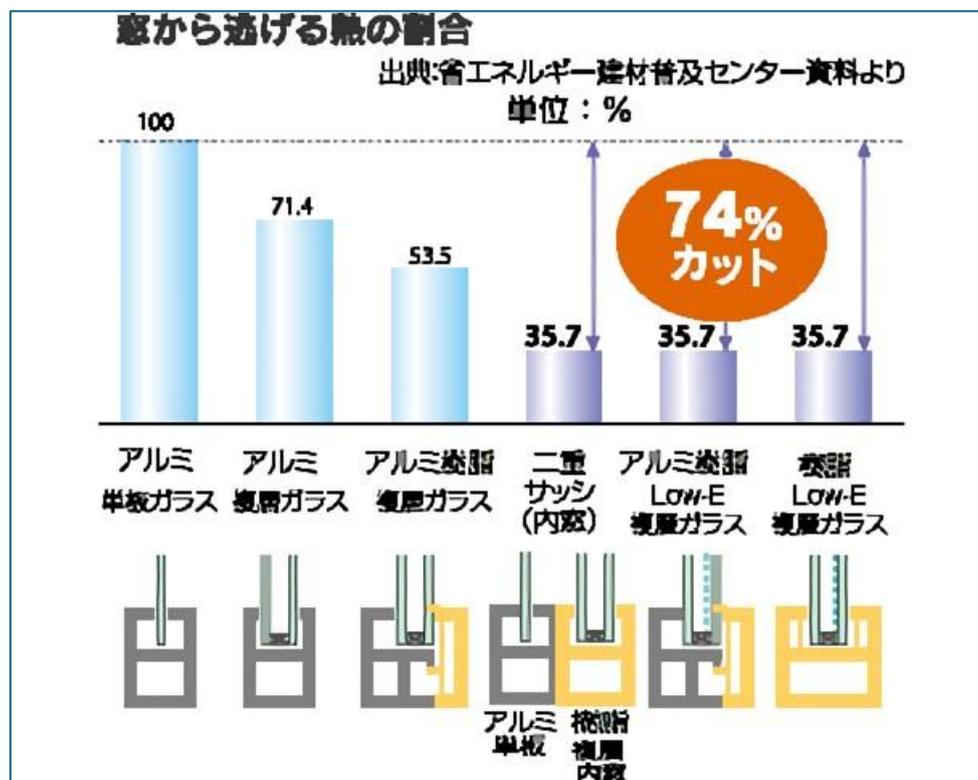


資料：  
塩ビ工業・環境協会 快適窓学より（東京モデル）

## 樹脂サッシとアルミサッシでこんなに違う、熱ロス比較

窓から逃げる熱量を、アルミサッシと樹脂サッシで比較した場合。樹脂サッシ（Low-E 複層ガラス）や、内窓（Low-E ガラス）を設置した二重窓の場合は約 74%も抑えることができます。

窓からの熱の出入りを抑えれば、快適な室温を保つことにつながり、さらに、光熱費を無駄に使うこともなくなります。

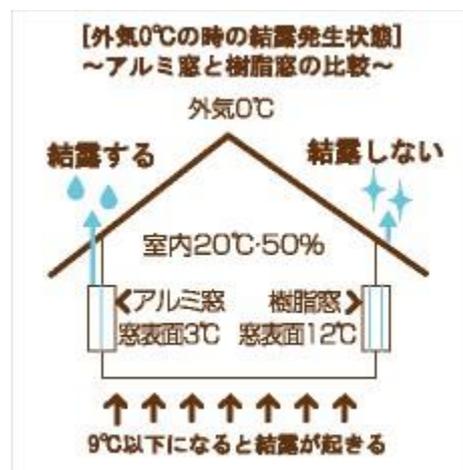


# 結露防止

## 外気温 0°Cで結露する窓としない窓

外気温 0°C、室内温度 20°C、湿度 50%の時、アルミサッシ（単板ガラス）は既にビッショリ。窓そうじも面倒です。

樹脂サッシ（Low-E 複層ガラス）は、この条件でも結露が発生しません。カーテンも清潔に保てます。



塩ビ工業・環境協会 HP より